



B細胞腫瘍を治す！を目指して

## 東海大学総合医学研究所 造血腫瘍分野



### 【研究概要】

当分野では、B細胞を中心とした造血腫瘍、具体的にはEBV関連リンパ腫等の悪性リンパ腫や急性リンパ性白血病に対して、新規治療を目指した基礎的な研究を行っている。

研究の柱は以下の3つである。

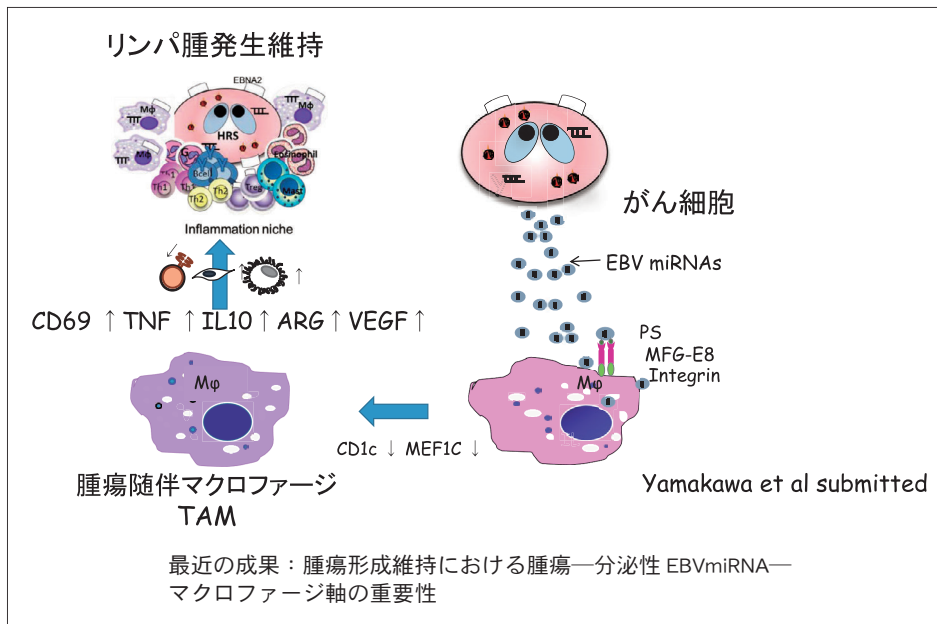
1. 新しい視点、非コードRNAからのB細胞腫瘍の病態解明と、逆に、病気から非コードRNA領域の新しいサイエンスの創生
2. B細胞腫瘍発生に関与するゲノム変異誘導遺伝子AIDの変異標的決定機構
3. 新しい治療コンセプトの考案とその有効性の検討
4. 異分野融合を目指したリンパ腫研究

2011年1月の研究室の設立から5年、徐々に研究基盤は整いつつある。病気から基礎研究のブレークスルーを目指す研究と、日本有数の悪性リンパ腫症例数を誇る血液腫瘍内科、悪性リンパ腫のエキスパートが指揮する病理診断科との連携を密に、“Bench to Bedside”を目指す研究の両輪を展開中である。メンバーは、医学、理学、農学、工学とバックグラウンドは様々で、各々の将来のキャリアパスを念頭においてプロジェクトを構成しているのも特長である。

〔文責：幸谷 愛〕

### 【キーワード】

悪性リンパ腫、急性リンパ性白血病、小分子RNA、AID、EBV、エクソソーム



### 【代表的業績】（※幸谷が最終著者兼責任著者のもの。）

- 1) Yamakawa N, Okuyama K, Ogata J, et al. Novel functional small RNAs are selectively loaded onto mammalian Ago1. *Nucleic Acids Res.* 2014; **42**: 5289-5301.
- 2) Okuyama K, Ikawa T, Gentner B, et al. MicroRNA-126-mediated control of cell fate in B cell-myeloid progenitors as a potential alternative to transcriptional factors. *Proc Natl Acad Sci U S A.* 2013; **110**: 13410-13415.
- 3) Kawamata T, Lu J, Sato T, et al. Imatinib mesylate directly impairs class switch recombination through down-regulation of AID: its potential efficacy as an AID suppressor. *Blood.* 2012; **119**: 3123-3127.

### 【指導できる技術】

1. ヒト化マウスを用いた EBV 関連リンパ増殖疾患モデルの解析
2. 遺伝子改変：体細胞 Crisper 等
3. レトロウイルス，レンチウイルスを用いた遺伝子導入
4. マウス造血系の解析
5. 4D イメージング
6. 小分子 RNA 解析

### 【連絡先】

幸谷 愛

E-mail: aikotani@k-lab.jp

教室 HP: <http://kotani.med.u-tokai.ac.jp/>